



本展は、2020年に急逝した曾根研氏と、その祖父の代から続いていた「ミスズアート・スタジオ」に注目し、モザイクタイルの絵画表現を担った職人たちを紹介する企画展です。

豊富な色数を誇るモザイクタイルを組み合わせて絵画や模様を作る仕事のことを、この地の人々は「アートを組む」と表現します。昭和23年、米軍羽田空港ターミナルに施工された1センチ角のモザイクタイルによる壁画を皮切りに、昭和20年代後半から、岡本太郎をはじめとする芸術家が「アート」制作を盛り上げていきました。モザイクタイルの普及には、笠原(現・多治見市笠原町)における施釉磁器モザイクタイルの開発と、量産体制の確立が大きく影響しています。その流れは身近な公共建築や銭湯、商店街などにも広がり、多治見でもアートを組む職人を多数輩出、その一つがミスズアート・スタジオでした。

現在、大掛かりなモザイクタイル画の需要は減少していますが、大きな壁面を利用した絵画的な表現は、豊富な色や形を組み合わせられるモザイクタイルの真骨頂ともいえます。本展では、3代にわたるミスズアート・スタジオの作品を軸として、まち中を彩ってきたモザイクタイル・アートをご紹介しますことで、その可能性を感じていただきたいと願っております。

関連企画

モザイクアート・ワークショップ
「アートなミニ額でモザイク体験」

講師 | 櫻井拓也(モザイクアーティスト)
対象 | 中学生以上 10人 8月開催予定
額縁を選んだら、タイル、大理石、ガラスなどから素材を選んで、モザイクアートを作ります。

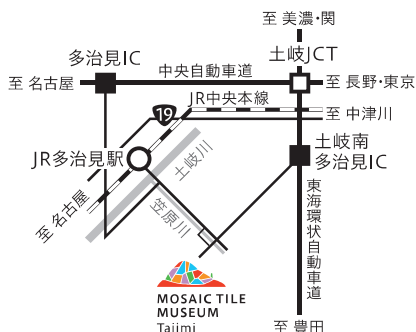
※その他にもワークショップなど計画中。
詳細についてはホームページにて告知します。

■公共交通機関
多治見駅南口を出て、「多治見駅前」2番バスのりばから東鉄バス原線「東草口行き」または「羽根行き」に乗車、「モザイクタイルミュージアム」下車。
(駅からの所要時間:約17分)

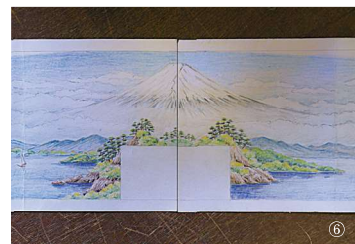
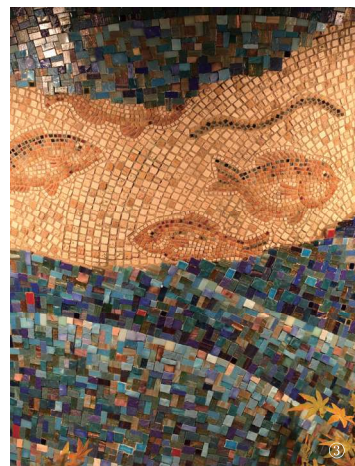
■自動車
多治見ICから約25分。土岐南多治見ICから約15分。
※駐車場は笠原中央公民館などの合同駐車場です。駐車スペースに限りがありますので、公共交通機関のご利用をお勧めします。
※【ご注意ください】カーナビの設定は住所を入力してください。
※新型コロナウイルス対策のため制限がある場合がございます。事前にご確認ください。

お問い合わせ先 |

多治見市モザイクタイルミュージアム
〒507-0901 多治見市笠原町2082-5
電話:0572-43-5101 FAX:0572-43-5114
URL: <http://mosaictile-museum.jp>



People who assemble mosaic tiles: Works of MISUZU ART and Mosaic Tile Art



- ①曾根研 名古屋モザイク工業株式会社大阪ショールーム「揺らぎの壁—白—」、2016年
- ②ミスズアート・スタジオ社屋外壁
- ③曾根研 銀座うかい亭カウンター内壁画装飾、2003年、株式会社うかい提供
- ④中山アート 多治見市元町地区公民館壁画(部分)、1960年代
- ⑤横井アート 東京・改正湯浴室内壁画(部分)、2011年
- ⑥横井浩之 改正湯モザイク画下絵(部分)、2011年頃
- ⑦岡本太郎 松竹セントラル劇場モザイク画「青春」下絵、1956年、岡本太郎記念館蔵
- ⑧「青春」制作中の岡本太郎、岡本太郎記念館蔵・提供

